

ふるさと納税

	件 数	金 額
平成28年 6 月	26件	400,000円
平成28年度累計	278件	3,110,000円

【ありがとうございます】

※承諾をいただいた方のみ掲載

山形 洋一さん（兵庫県高砂市） 姫野 保則さん（福岡県福岡市）
福山 通彦さん（神奈川県川崎市） 中村 栄作さん（東京都調布市）

加東市への ふるさと納税を 募集しています



1万円以上の寄附をいただいた方には、
加東市の特産品等をお贈りします。
また、お礼の品とする特産品も随時募集
しています。

問い合わせ 総務部総務課（庁舎4階）
☎43-0410

市・県民税第2期、国民健康保険税第2期は

8月31日(水)です。

- ・市税の納付には便利な口座振替制度をご利用ください。
- ・コンビニエンスストアでも納付できます。
- ・納期限を過ぎた納付書は、コンビニエンスストアでは使用できません。
- ・納期限を過ぎると、督促手数料と延滞金が発生します。

問い合わせ 総務部税務課（庁舎1階）

市・県民税 ☎43-0396
国民健康保険税 ☎43-0397

ボーイスカウト社第1団 体験デイキャンプ参加者募集

自然の中での活動を通して、生きる力を身につける
『ボーイスカウト活動』を体験してみませんか。スカ
ウトと一緒に、野外行事（飯ごう炊飯・ゲーム・キャン
プファイヤー等）を楽しみましょう。

日 時 8月27日(土)10時～20時(受付9時30分～)
場 所 嬉野台生涯教育センター

第一キャンプ場(加東市下久米1227-18)

対 象 保育園・幼稚園・こども園の年長組
から小学生まで(小学校2年生までは保護者同伴)

定 員 30人

持ち物 ①おにぎり2個(昼食用)②水筒

③お米1合(夕食用)④汗ふき⑤帽子

※その他、野外活動に必要と思われるも
のは持ち込み可能。

参加費 1人500円 申込期限 8月20日(土)

申し込み・問い合わせ

ボーイスカウト社第1団 金川

☎090-7882-4526



「兵庫教育大学からのお知らせ」

兵庫教育大学

公開講座参加者募集

①『絵画制作』

絵画の制作を通し、表現・
創作の楽しさを味わうと
もに、材料や技法について
の知識を高めます。

日 時 9月10日(土)、11日

(日)、24日(土)、25日(日)(全4

回) 10時～16時

(昼食休憩1時間を含む)

場 所 兵庫教育大学加東

キャンパス(芸術棟)

加東市社協10周年記念 福祉大会

日 時 9月11日(日) 13時30分～

場 所 滝野文化会館

内 容 地域福祉に貢献頂いた
方への表彰と島田洋七さんに
よる記念講演

日 時 8月24日(水) 10時～

場 所 社福祉センター

※整理券は1人2枚まで

(先着順)

問い合わせ

(福)加東市社会福祉協議会

☎42・2006

夏休み親子体験料理教室 MYジャム作り

加東市産のフレッシュな白
桃をふんだんに使ったジャム
を親子で作ってみませんか？

日 時 8月22日(月)

13時～15時

場 所 JAみのり みそ会館

(加東市社1777-1

JAみのり本店敷地内)

対 象 小学生とその保護者

定 員 10組(先着20人程度)

持ち物 マスク、エプロン、三

角巾、手ふきタオル、上履き

参加料 1組 1,000円

※おみやげ付き

(自分で作った桃ジャム)

兵庫県障害者 のじぎくスポーツ大会

フライングディスク

銅メダル 中西一真(貝原)
卓球 銅メダル 前川由加利(社)
水泳 金メダル 大久保一二三(北野)
銀メダル 上月俊直(鳥居)

ソフトボール投げ

金メダル 岡田政代(高岡)
銀メダル 澤井 勉(屋度)
銅メダル 西山司朗(社)



桑原 誠(下滝野)

藤井堅太郎(河高)
芹生 昇(新町)
(順不同・敬称略)



申込方法 お電話にてお申込
みください。
※市外の方も申込みいた
できます。
申込期限 8月15日(月)
問い合わせ
JAみのり
加東営業経済センター
☎40・0050

文芸かとう

(東条俳句同好会)

山抜けや輝いてゐる蓮浮葉 出井なつ子
海の風入れて玉葱吊るしけり 近澤栄美子
山襲を雲のぼりゆく青田かな 土肥 文子
接岸の船の白さや夏来る 萩原 寿子
土用芽の空に馬臭のうすうすと 松山はつ子
掌につつま分厚き湯呑田植寒 森 由香里
形代を流すや絹のよな雨に 森 つる子
ほととぎすよく鳴く窓を開けに けり
山田津多子
どくだみの包ひの籠る操舵室 西原 和孝
擬卵抱く鶏に入れたる青田風 桂 鴻志
〔短歌〕 (社短歌会)
新緑にスケボー少年ジャンプし 哲子
て神戸の風を二に分ける 哲子
みどりたつわが菖蒲園くれあひ 上月しげ子
にぼつりぼつりと紫の咲く 移りゆく季節の思ひとどめむと
刻まれし時歌にしてみむ 山野 公子
寒暖の激しき今日の天候に猛暑 岸本 朝子
の夏の来るを憂へる

炎天下早苗の水かけ水遊び七色 田中 千秋
の虹にしばし潤ふ 連れだちて買ひ物三昧目の色を 山野小津恵
変へて探す我疲勞する夫 伊村 晶子
夫よりも黒く焼けたるわが腕は おそと遊びの吾子との敷章
夏雲を連れて列車は疾走る鉄路 稲岡みさ子
のリズム座席に伝ふ ママ友の愚痴を聞きつつ我が愚
痴は沈殿してゆき上澄みでける 植野 千恵
指揮者ある輪唱のごと二群れの 蛭かたみに点滅かはす 林 茂代
〔川柳〕 (滝野川柳同好会)
突然の友の驚き計の知らせ 丸山 一之
半そでは腕色黒で気がひける 神戸 治
生くもよし逝くのもよしと我思 安達 厚
う 名旅館気使いすれど構いなし 阿江 勝義
梅雨つれて関東へ発つ首飾り 桂 ひろし
湯の花を入れて極楽演歌節 竹内 保
取っておきの笑顔挨拶違い 長谷川 昭
ほっこりとそのひとことに癒や される
生かされて今朝も感謝のよい目 芹生 尚美
覚め 庶民には生かす術ない領収書 大久保利政